

2. 火山の概況 (平成 15 年 8 月 7 日 ~ 平成 15 年 8 月 13 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。富士山では一時的に深部低周波地震がやや多くなった。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島では噴煙活動が継続した。薩摩硫黄島では小規模な噴火があった。

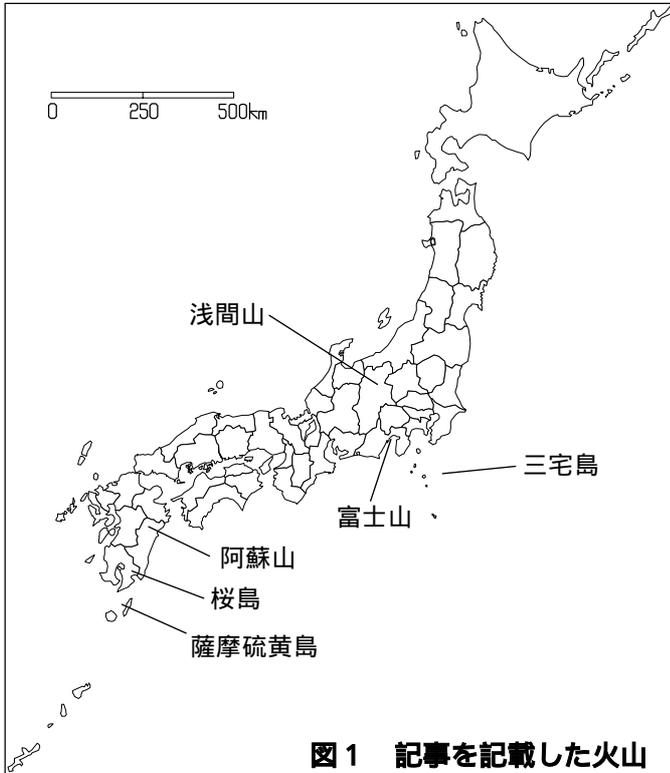


表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	富士山	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
33	8/ 7- 8/13							
32	7/31- 8/ 6							
31	7/24- 7/30							
30	7/17- 7/23							
29	7/10- 7/16							

注 1 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

浅間山 [地震・微動]

6 月末頃から、やや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が続いており、1 日当たり 51 ~ 77 回観測された。また、振幅の小さい微動は 2 回観測された。

噴煙及び火口内の状況は雲による視程不良のため観測できなかった。

GPS による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

富士山 [地震]

7 日 22 時台 ~ 8 日 05 時台にかけて、山体深部が震源とみられる規模の小さい低周波地震が一時的に多くなり 10 回発生したが (図 2)、その後は収まっている。

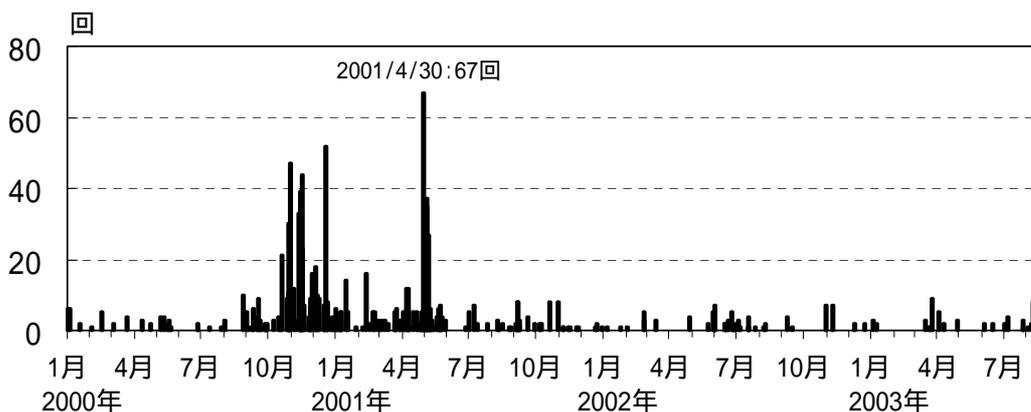


図 2 富士山 深部低周波地震の日別回数 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2003 年 8 月 13 日)

三宅島 [火山ガス・噴煙・微動]

12日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量5,800~8,800トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図3)。また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、火山ガスを含む青白い噴煙が東側山麓を流下していた。火口内の状況等は雲による視界不良のため観測できなかった。

監視カメラによる観測では、噴煙は雲による視程不良のためほとんど確認できなかったが、7日に白色噴煙が火口縁上500mまで上がっていた。

10日18時頃から約1日の間、連続的に発生している微動の振幅が周期的(およそ30分ごと)に増減する現象が観測されたが、これに伴いその他の観測データに特に異常な変化はなかった。振幅の小さいやや低周波の地震は、1日当たり6~30回と落ち着いた状態で推移した。期間中、規模の大きな低周波地震は発生しなかった。

GPSによる地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

1) 警視庁の協力による

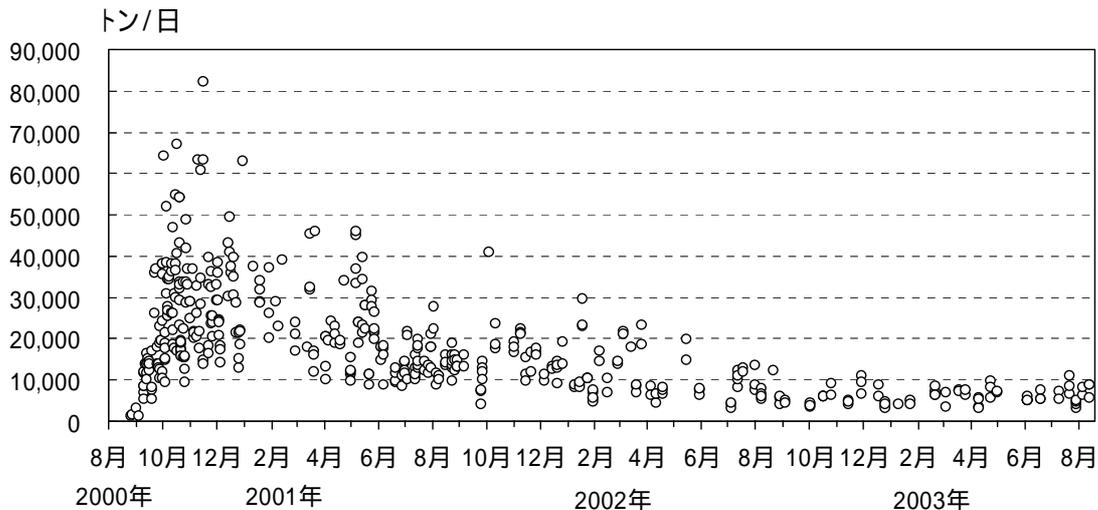


図3 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移(2000年8月26日~2003年8月12日)

阿蘇山 [熱・微動]

中岳第一火口内の状況は、12日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は灰緑色で、茶色の浮遊物が認められた。また、5月下旬より続いている中央部での噴湯現象に加えて、中央部やや北東側でも新たに噴湯現象が確認された。湯量は9割であったが、降水により前回(6日)の観測時より増加していた。湯だまりの表面温度の最高は73(前回(6日)76)と依然高い状態が続いている。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上500mであった(前期間の最高も500m)。

孤立型微動はやや多い状態で、日回数は35~114回、合計は522回(前期間は572回)であった。また、連続的な微動が9日6時28分~7時48分及び13日9時35分~10時38分に観測された他、これらより継続時間が短い微動もしばしば発生した。

地震の発生状況、地殻変動等には異常な変化は観測されなかった。

桜島 [噴煙]

期間中、噴火はなかった(前期間も噴火なし)。有色噴煙の最高は火口縁上600m(12日、灰白色)であった。鹿児島地方气象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間も降灰なし)。

薩摩硫黄島 [微動・噴煙・降灰]

7月18日に始まった連続的な微動が依然として継続しており、火山活動はやや活発な状態で推移した。

監視カメラにより、8月12日に灰白色の噴煙が火口縁上200mの高さまで上がっているのを観測した。三島村役場硫黄島出張所によると、13日に島内の集落（硫黄岳の西約3km）で微量の降灰が確認された。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第434号 (1日2回発表)	7日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第447号	13日 16:30	